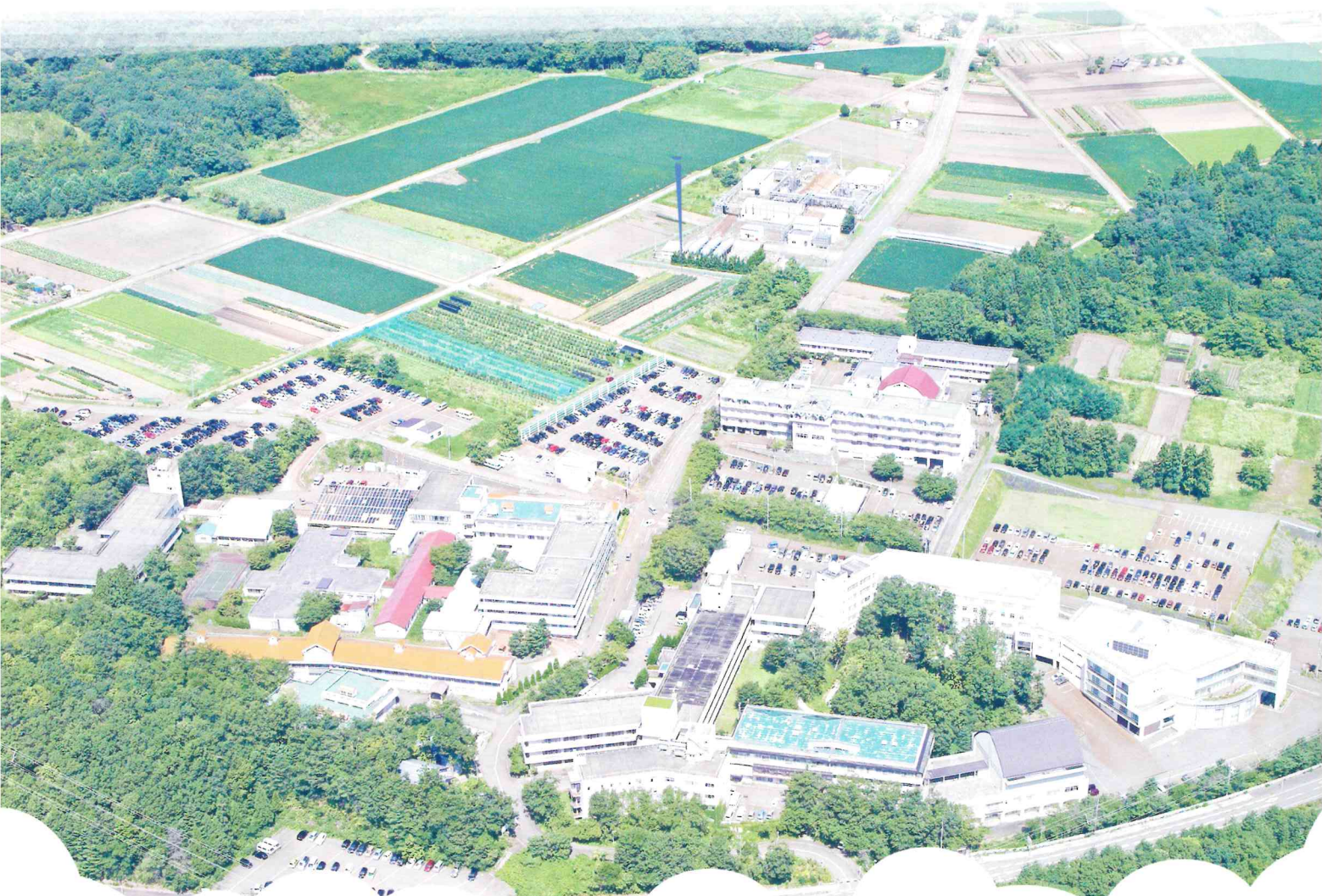


感謝をこめて

太陽の広場

vol.93
2024.6



会長挨拶



NPO法人長岡医療と福祉の里
会長 田宮恵子

「NPO法人長岡医療と福祉の里ボランティア連合会」は創立40周年を迎えることができました。長岡市、長岡社会福祉協議会、そして長きに渡り継続活動された多くのボランティアの皆様へ深く感謝申し上げます。

ボランティア連合会の始まりは昭和46年、特別養護老人ホームわらび園の開園時から、田宮家のある王番田地域の方々に清掃、除草、洗濯物の整理をお願いしたことに始まります。その後周囲に長岡療育園、さくら園、こぶし園が開設されましたが、各々でボランティア受け入れを行っていたため一本化が提起され、昭和58年にボランティアサロン「すぎなの会」が発足しました。

当時「ボランティア」という言葉はまだ聞き馴染みのないものでしたが、人脈が広く常に献身を惜しまない田宮宗英前会長の精力的な行動で会員数も増加し、昭和60年4月すぎなの会を引き継ぎボランティア連合会が発足しました。同年より長岡市から委託を受け、高校生・専門学校生・一般対象のボランティアサマースクールが開始されました。

平成11年4月、県内の福祉団体としては初めて特定非営利活動法人(NPO)の認定を受けました。令和2年10月～、新型コロナウイルス禍で影響もありましたが、スーパーや野菜市場、その他多方面からの食材提供をいただき、毎月1回子供食堂を開催しています。

これからもご利用者様にご満足いただけるよう精進して参ります。どうぞご支援のほど宜しくお願い致します。

★ お祝いの言葉

「創立40周年を祝して」



長岡市社会福祉協議会
会長 野口正博

長岡医療と福祉の里ボランティア連合会の創立40周年にあたり、心からお祝い申し上げます。

昭和60年の設立以降、貴会は福祉に関する専門知識や機能を活かしながら、ボランティア活動に関する相談をはじめ、その受け入れや、育成、研修などを推進されております。また、介護サービス「えくぼ」の実施や、地域食堂「ごふく食堂」の運営など、現社会を取り巻く福祉課題に対応する活動を展開されてきました。これは、住民の暮らしと生きがいとともに創っていく地域共生社会づくりの活動でもあり、地域にとって大きな励みとなっています。

当協議会といたしましても、ともに生き、ともに支えあい、心のかよいあう地域社会に向け、引き続き貴会との相互の連携をお願い申し上げます。

結びに、貴会の今後のますますのご発展と会員の皆様のご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

崇徳厚生事業団 NPO法人長岡医療と福祉の里ボランティア連合会の創立40周年誠におめでとうございます。

ボランティア連合会の歴史を振り返りますと、昭和46年10月に開設した特別養護老人ホーム「わらび園」で、長岡赤十字高等看護学院（現長岡赤十字看護専門学校）の学生さんに食事の介助等奉仕活動（ボランティア）をして頂いたのが始まりです。その後、施設や病院が新たに開設されたことに伴い、多くのボランティアの方々から活動していただきました。昭和60年に「長岡医療と福祉の里ボランティア連合会」を発足し、初代会長に就任された故田宮宗英氏は、浄願寺住職や福祉法人理事等で激務の中、ボランティアの必要性を説かれ率先垂範されました。ボランティア連合会の発展に大きく献身されましたことは感謝に堪えません。

これまでボランティア連合会では、ボランティア受入の調整・相談や、介護・介助等の手助け、更には育成事業として中学生ボランティアサマースクールなど、数多くの事業を手掛けられ社会に貢献されてきました。ここ数年は、コロナ禍により自粛を求められ従来の活動を続けることが難しくなる中、新たにオンラインを使用するなど、試行錯誤しながらも活動を継続してこられました。どのような時も利他の精神で献身的な活動をされてきたボランティアの方々に深く感謝申し上げます。

働き方改革が推奨され、ともすると実利ばかりが優先される昨今、無償の好意で成り立つボランティア活動は大変貴重であり、これまで活動を支えてこられた利用者、行政、ご寄附頂いた個人や企業等多くの方々には改めて感謝申し上げますとともに、引き続きご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、ボランティア連合会様の更なる発展と、会員のみなさまのご活躍を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

「祝辞」



一般社団法人
崇徳厚生事業団
理事長 田宮崇

★ 35周年～40周年までの5年間を振り返って

年	ボランティア連合会のできごと	崇徳厚生事業団と社会の主なできごと
昭和58年 1983	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア連合会の前身である『すぎなの会』発足 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回太陽の広場開催
昭和60年 1985	<ul style="list-style-type: none"> 『長岡医療と福祉の里ボランティア連合会』発足 広報誌『太陽の広場』創刊 第1回ボランティアサマースクール実施 	<ul style="list-style-type: none"> 悠久崇徳学園 長岡崇徳大学開学
令和1年 (平成31年) 2019	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌『太陽の広場』35周年記念号発刊 創立35周年ボランティアセミナー2019開催 	<ul style="list-style-type: none"> 国内でコロナ禍が拡大 崇徳厚生事業団 一般社団法人化
令和2年 2020	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でボランティア活動中止 地域食堂（呉服町）ごふく食堂開始 	<ul style="list-style-type: none"> 東京オリンピック・パラリンピックが1年遅れで開催 長岡福祉協会 東京都中央区立日本橋高齢者在宅サービスセンター
令和3年 2021	<ul style="list-style-type: none"> オンラインでボランティア活動始める 	<ul style="list-style-type: none"> 長岡崇徳福祉専門学校が学校法人悠久崇徳学園から長岡福祉協会へ設置者変更
令和4年 2022	<ul style="list-style-type: none"> 中学生ボランティアサマースクールをオンラインで行う 	
令和5年 2023	<ul style="list-style-type: none"> ごふく食堂の開催場所を希望が丘コミュニティーセンターへ移動 	
令和6年 2024	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌『太陽の広場』40周年記念号発刊 	<ul style="list-style-type: none"> 崇徳会 県立加茂病院 指定管理者制度による運営 長岡福祉協会 県立コローニーにいがた白岩の里 指定管理者制度による運営 4月、崇徳会は田宮病院の精神科救急医療による社会貢献が認められ「社会医療法人」となる

利用者さまの声

介護サービスえくぼ

「介護サービス えくぼさんにお世話になって」

長岡医療と福祉の里 ボランティア連合会創立40周年おめでとうございます。

喜寿になりましたが、昨年の夏に踏み台から落下し、腰椎の圧迫骨折をしてしまいました。激痛のため身動きがとれず、地域担当のケアマネージャーさんからの紹介で、いくつかある事業所の中からえくぼの派遣ヘルパーさんをお願いすることにしました。

激痛のため四つばいでやっとの思いでトイレに行き、真夏の暑さの中同様にして玄関先まで行って横たわり、宅配弁当を食べる毎日でした。しかし痛みのため食欲も激減し、ほとんど食べられず、10kg近くも痩せてしまいました。

そんな 中週2回1時間ずつ数人のヘルパーさんが交替で訪問して下さり、家事全般や 買い物など気持ちよく仕事をしていただくことが出来ました。皆さん個性はそれぞれ異なるにもかかわらず、介護の質が高く、良質な介護提供をしていただけたことに感謝しております。

不自由な生活の中で来ていただける日を心待ちにしておりました。半年間はベッド上での生活を余儀なくされていましたが、年が明けてからは、痛みも大分和らぎ、徐々に立って動けるまでに回復しました。そして今年2月末で派遣サービスを終了していただくことにしました。

7か月間お世話になりました。苦しい状況の中でお話を聴いていただけたことにも力をもらえました。

まだ長時間背すじをのぼしていることが出来ず、動いた後は痛みが出て完治した訳ではありませんが、あとは一人でなんとか頑張りたいと思っています。一人暮らしですので、このようなサービスを受けられませんでしたら、回復もままならなかったことと思います。

地域では、障害をお持ちの方やお年寄りの一人住まいの方々も多く居られるかと思いますが、お一人お一人の状態に合った臨機応変できめ細かなサービスを今後もずっと続けていただけたならと願っております。長い間訪問し助けていただきありがとうございました。皆様のご健闘をお祈り申し上げます。

(利用者 Aさん 77才女性)



橋本和良さんが表彰されました

おめでとうございます!

令和5年度「社会福祉功労者表彰」を社会福祉協議会会長より受賞されました。

平成22年から桐樹園やこぶし園等でご利用者さんと将棋の対戦ボランティアをしていただき、対局の時間はご利用者さんにとってかけがえのない時間となっています。

元気のみなもと

ワークセンター小千谷さくら
いずみさん



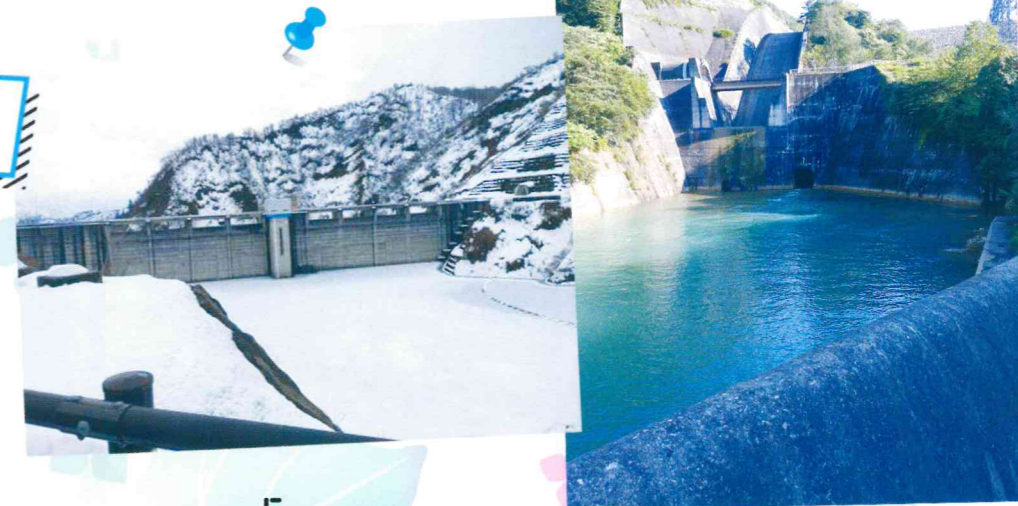
こぶし園 安立さん

自然の中で1人でも大勢でも楽しめるキャンプです。(写真：テントの灯)

好きなものやテレビを見て折り紙で折ることがマイブームです。

桐樹園 監物さん

人工物であるダムと、季節毎に変わる自然の景色を見に行くのが楽しみです。



田宮病院

「ボランティアさん ありがとう」

『令和6年4月1日より、田宮病院の精神科救急医療による社会貢献が認められ、崇徳会は社会医療法人となりました。今回の認定を機に、より一層医療・福祉・保健と切れ間のない質の高いサービス提供を目指し事業展開を行ってまいります。』

民謡すみれ会のみなさんをお招きし、久しぶりに対面での活動を行いました。力強い歌声と三味線の音色に会場にいた職員も引き込まれ、最後は患者さんも手のふりを真似しながら、一緒に長岡甚句を踊りました。外部の方との交流が少ない中で、すみれ会のみなさんのパフォーマンスに元気をもらった患者さんは多くいらっしゃったと思います。すみれ会のみなさん、ありがとうございました！



小千谷さくら病院 「新病棟完成しました」

令和5年7月に悲願であった新病棟が完成しました。新病棟は明るく、柔らかい色合いでカラーコーディネートされ、窓も大きく開放感のある病棟になりました。居室などについては一人一人に窓が設置されるような造りとなっていて患者様からご好評頂いております。リハビリ室もリニューアルされました。広くて明るい機能訓練室の他に各療法の専門部屋もできました。観葉植物やトトロ等も置かれていて憩いの場にもなっています。これからもこの仕事を選んだ時の初心を忘れず、創意工夫をし、職員皆で『温かな病院』を目指していきたいと思ひます。



長岡療育園

長岡療育園 今年で創立45周年です。毎月一回水曜日に装飾ボランティアをして頂いている成保様、時田様、池田様、五十嵐様です。元々当園通園センターにて成保様が実際に利用者と活動をして関わっていたのが最初だったそうです。そこから成保様にご友人を紹介して下さり、現在に至るとの事です。10時から15時までの限られた時間の中で制作のテーマを決め、完成まで持っていくのはなかなか大変との事。30数年もの長い間続けてこられた秘訣をお伺いしたところ、「居心地が良いのが一番の理由だ」と仰っていました。毎月楽しい装飾を届けて下さりありがとうございます。



「歴史を振り返る」 サンプラザ長岡

三ツ郷屋温泉の跡地にサンプラザ長岡は建設されました。周りは西病院と田んぼだけしかなく、ムサンや商業施設もほとんどありませんでした。始めの頃は職員も新卒者が多く、介護職の未経験の人達が多い中、みんな手探りで何とかやってきました。朝は居室の掃除から始まり今は考えられない事です。介護保険が導入された今は職員のプロ意識も高く、福祉用具や機器も導入され負担が軽減されています。オムツ類も昔は布おむつ、今は多種多様な紙おむつ(吸収力も抜群)です。栄養科に関しては当初6名からスタートし、今は13名、仕事内容もミキサー食が増え、人も仕事も量も倍になり、日々忙しい毎日を送っています。





ボランティア会員さま募集

【当事業の取り組み内容】

- ・ ボランティアコーディネーター
- ・ 助け合い事業 (介護サービスえくぼ)
- ・ 地域食堂
- ・ 中学生ボランティア講座
- ・ 就労支援 など

正会員

<ul style="list-style-type: none"> ・ 総会 議決権あり ・ 運営を一緒に考えていただきます 	
年会費 個人	1,000円
年会費 団体	3,000円

協力会員

<ul style="list-style-type: none"> ・ 資金面の支援 	
年会費 個人 一口	500円
年会費 団体	3,000円

ボランティア会員

<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア活動
<p>年会費 納入なし</p>

寄付金は随時お受けいたしております お問い合わせは下記奥付までお願いいたします↓

【正会員さまからの声】～ボランティア活動で大切なこと～

- ・ ボランティアは施設活動しているときの声掛けが一番嬉しい
- ・ ボランティア同士の交流の場となることが地域連携に繋がる
- ・ 定年退職後の生き方として、地域でのボランティア活動は「人の役に立てる喜び」が生きがいに繋がる
- ・ 活動を受けている施設や病院が思いを伝えることが何より大切



さふく食堂開催中です！

毎月第3土曜日に、希望が丘コミュニティーセンターで地域の方と食を通じた多世代交流の場を目的に運営しています。現在はお弁当の配食ですが、希望があれば会食も可能になっています。

「美味しいお弁当をいつも楽しみにしています」「バナナシェークが美味しい！」と声をかけていただくことが、活動の励みになっています。



こども食堂ボランティアと一緒にしませんか？

太陽の広場 vol.93 2024.6

【発行】NPO法人 長岡医療と福祉の里 ボランティア連合会

〒940-2135 新潟県長岡市深沢町2278-8
 TEL: 0258-47-2233 FAX: 0258-47-2237
 Email: boraren@road.ocn.ne.jp
<https://www.nagaokafk.com/boraren/>
 X: @boraren_nagaoka



編集後記

1985年7月の初版「太陽の広場」から2024年6月で93号となり、長い歴史を刻むことができました。快く取材やご寄稿いただき感謝申し上げます。広報誌をご覧いただいた方が興味を持ち、一緒にボランティア活動に参加いただければ幸いです。